

事業概要	奈良県・和歌山県・三重県にまたがる紀伊半島地域の持続可能な発展に向け、生活クラブ生活協同組合と提携生産者、さらに地域内の生産者間連携により、地域資源の活用を進め、食料、エネルギー、福祉の自給圏づくりを中心としてローカルSDGsの推進を図る。
部署	有限会社農業生産法人王隠堂農園
所在地	〒639-3116 奈良県五條市西吉野町湯塩154
連絡先	(電話番号)0747-26-2121 (E-mail)pandora@smile.ocn.ne.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>奈良県・和歌山県・三重県にまたがる紀伊半島は梅、柿、柑橘類などの果樹栽培や吉野杉に代表される林業が盛んな山間地域です。</p> <p>果樹栽培の高齢化や生産量の減少、林業の衰退により地域産業の基盤が危機的な状況にあります。しかし、高低差が大きな山間部は果樹に限らず水や木材など貴重な国内資源、とりわけ地下資源に頼らないカーボンニュートラルを目指すSDGsに対して、有用な資源が豊富な地域でもあります。</p> <p>果樹を中心とした山間部、中山間部の農業の持続可能な発展を推進します。また、農産物の加工(カット野菜やフリーズドライ)など農業生産物の効率的利用や保存性、貯蔵性を高めた取り組みにより食料供給の安定化を目指します。</p> <p>さらに、小水力発電や健全な森林の育成管理は、次世代に向け重要性を増しており、次世代に繋がる取り組みを地域内の関係者が広く繋がり、持続可能な社会の構築を目指します。</p>

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素／農林水産業・地場産品／健康・福祉
		<ul style="list-style-type: none">地域内連携による果樹生産の維持加工食品原料の生産と活用再生可能エネルギー発電と売電益の活用による地域振興行政と連携した農林連携の推進、福祉事業の推進
	URL	<p>■生活クラブとともに地域と農業の発展をめざす KARP(カープ)の歩み https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=1000000640</p> <p>■「紀伊半島エリア再生産組織(KARP)」を支える人びと https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=0000053324</p> <p>■紀伊半島エリア再生産組織(KARP)にかける生産者の思いとそこに寄り添い応援する生活クラブ組合員の期待 https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=0000049842</p> <p>■【夢都里路くらぶ】参加者の声:No.444 紀伊半島版、地域が連携して働き、生きていく、熱い姿勢に圧倒「ちょっと来て見てみ、紀伊半島 梅・森・みかん」 https://yutoliro.jp/1111/</p> <p>■【市民セクター政策機構HP】協議会④紀伊半島地域協議会 —中間山地の持続可能性こそ日本農業の未来 http://cpri.jp/5378/</p>
上記ソリューションを提供できる地域について		全国(生産物の利用として)、奈良県、和歌山県、三重県

自者の特徴	<ul style="list-style-type: none">生活クラブと紀伊半島の生産者は産直事業を展開し、梅、柿、かんきつ類の園芸品や、地域内で生産される農産物の加工原料活用などの提携を展開してきました。さらに林業者との連携で、小水力を始めとした再生可能エネルギーの発電にもチャレンジしています。梅干しなど日本の食事に欠かせない地域の伝統的な食品の持続的生産に向けた生産者連携や、フリーズドライなど保存性、貯蔵性を高めながら地域資源を活用した食品開発など、さらに生産者間の連携で事業創出、雇用創出、再生エネルギーの拡大、自給力向上に取り組んでいます。
SDGs経営に向けた自者の課題や悩み	<ul style="list-style-type: none">事業者の高齢化や従業員不足、原料資材の高騰により持続的な生産が難しくなっている。傾斜地での除草剤使用により土砂崩れにつながるなど、雑草管理ができなくなっていくことで園地の維持が難しくなっている。主たる生産物である果樹類が気候危機の深刻化により生産が不安定化している。安価な輸入木材の普及により地場産業である林業が衰退し、山林が荒れてきている。気象災害が頻発しており、荒れた山林が被害を置きくしている。

名前	事業内容	組織ビジョン	地域	担当者
農業生産法人 (有)王隠堂農園	奈良県五條市西吉野町（旧吉野郡西吉野村）で柿と梅を中心に果樹栽培を行ってきました。地域農業の発展と共に地域の農家が協同で生産から加工、販売までを行い、地域の中核的な農産事業を確立しました。	地域の共同と共生で未来を目指します 奈良県五條市は人口減少がすさまじく、国の消滅可能性都市の上位に位置しています。 地域に人がいなくなると農業が立ち行かなくなります。 我々は農業を通じて、地域に暮らすすべての人々が共同で地域存続に取組み、共生出来る社会を作り、豊かな未来を目指します。	奥大和 エリア	王隠堂 正悟哉
(株)パンドラファーム グループ	「安心」「安全」「美味しさ」が担保された農産物作りのあくなき追求と、持続可能な生産体系・生産組織の構築を基盤とした農産物の青果・加工品の産地開発、食品開発、販売を行う。	1. グループ会社(株)オルト、(株)ポタジエ、美吉野醸造(株)と共に、各々の加工技術を用い、さらなる地域農産物、西日本FU農産物の多用途有効活用を目指します。 2. SDGS「地域循環共生圏」の構築を推進します。 ① 地域農業、林業、薬業等との材、技術を駆使した加工品の共同開発。 ② 協力会社と共に、廃棄される農産物を再利用した加工品の研究開発。	奥大和 エリア	和田 宗隆
(有)農悠舎王隠堂	安全安心な農産物や加工品を販売するオンラインストアや、古民家レストラン、アウトドア施設、里山暮らし体験の企画運営を行っています。紀伊半島の食と農の魅力を広げ、歴史・文化・地域を都市や未来へつなぐ活動を行っています。	食卓に安心のおいしさを。農村に豊かな未来を。 農悠舎王隠堂では農産物の生産、加工品の製造・販売だけでなく、農業の新たな可能性をひろげる取り組みとして、地域資源を有効活用した各種プロジェクトの立ち上げと運営に積極的に取り組んでいます。 古民家レストランや里山暮らしの体験施設の運営、アクティビティの提供も行っていきます。 私たちは「食」と「農」をキーワードにしたプロジェクトを地域経済の活性化、農業人口や地域雇用の維持、紀伊半島と他地域の人々の交流などにつなげる事業を展開していきます。	奥大和 エリア	油田珠子

名前	事業内容	組織ビジョン	地域	担当者
豊永林業(株)	環境に配慮した山林事業を行い、持続可能な森林経営を目指します。	木の伐採、加工現場の見学・体験ツアーやイベントを開催し、SNSでの広報活動を行います。 自社管理山林の木材を使った商品を、伐採、加工、商品販売に至るまでの工程を管理し、流通に対するトレサビリティを確保します。 引き続き環境に配慮した山林事業を行い、持続可能な森林経営を目指します。	奥大和エリア	増春雅孝
吉野銘木製造販売(株)	一般消費者の生活の中で、自然素材である木にもっと身近に感じて触れて頂けるよう、まな板などの生活に密着した木製品から、自分で張れる木の壁板など、木を利用したDIY商品や建築用材の販売、さらには新築やリフォームのご提案も行っています。	サステナブル素材の代表とも言える木材、我々の事業はこの木材を生産し、活用、利用し、社会に役立たせ、人を幸せにすることを核としています。 木は使わなければ山は荒廃をたどります。荒れた木々は気候変動にも影響を与え、保水力を維持できず、ミネラルを含む良質な水を作り出し、海に地球に還元することができません。 また、生態系を維持するために必要な環境を守れず、多様な生物に不利な影響を与える原因を生み出してしまいます。 SDGsを達成するためだけでなく、持続可能な資源として木材を利用し、活用するために、一般消費者に受け入れられる木製品を作り、提供することが地球環境を維持する一助となると考えています。	奥大和エリア	貝本拓路
(株)紀伊スタイル	こころを込めて丁寧に育てた食材をより多くの人にお届けしたいと願う農家と杉桧の良さを皆さんに知って欲しいと願う林業関係者や職人で新しいモノ・コトを生み出していく。	持続可能な生産消費形態を確保します。 一次産業（農・林・漁）の協力パートナーを拡大し、紀伊半島で生産された安心安全な商品を提供します。 紀伊半島地域の雇用創出、文化振興・産品販売・観光に対し持続可能な協力及び経営を目指します。	奥大和エリア	中前徳明
美吉野醸造(株)	日本酒や甘酒など、発酵醸造加工をおこなっております。原材料である米は、地域の生産者と連携し中山間地域ならではの輪作体系を活かした酒米を利用しております。また、醸造法は伝統的な手法を応用し培養酵母菌を一切添加せず、自然酵母のみで発酵させる酒造りをおこなっております。	地域農業の延長線上にある醸造を目指して、地域の米生産者がつくる米のみを契約栽培にて利用し続けることで生産者と共に継続ある組織を目指しております。 また、吉野杉の産地であることから木桶仕込みを復活させ地域林業ともかかわりを持つことで、地域へ醸造を通じて貢献してゆきたいと考えております。 さらに、柑橘や梅、柿など米以外の原材料を活用し、地域に根差した酒蔵として紀伊を紹介できる商品づくりを行い紀伊半島地域の活性につなげてゆきたいと思っております。	奥大和エリア	橋本晃明

名前	事業内容	組織ビジョン	地域	担当者
(株)KARP	<p>生果出荷に適さないみかん類の商品開発と原料出荷。 親元就農、新規就農を含めた人材育成（農業技術の取得と農地、農業機械・施設等の取得支援） 夢都里路くらぶを通じた組合員交流。</p>	<p>令和5年度海南市下津町に開設予定の道の駅への参画（協議会メンバーの商品も出品できないか）。 共同農場の開設（新品種の研究、スマート農業を含めた新たな技術取得や新規就農者の研鑽の場として）。 過不足のない安定供給のために生産者拡大を継続して行う。</p>	紀州 エリア	内芝和哉
旬彩くまの	<p>農業を中心として息子夫婦と2世帯で活動しています。野菜をはじめユズ、ジャバラを栽培しながら他産地との連携で農産品の新規販路開拓や新たな産品の開発などを行っています。 また、行政や地方団体と連携し移住希望者の農林業への参入支援や農産品の栽培支援、販路開拓支援を行っています。</p>	<p>「持続可能な一次産業を行う上で第一は人材確保でとりわけ過疎対策は重要です。そのため一次産業に従事する移住者を誘致して定住していただくために、地域（地域住民、行政、団体等）と都市部の人との交流が必要です。また、地域の特性を生かした産物や需要の見込める産物の生産ノウハウや販売は収入に直結するものですので、その支援も重要だと思えます。</p> <p>「地元産品を利用した加工品など新たな商品開発と販売活動。少子高齢化による人口減少とそれによる1次産業の働き手不足の解消対策として都市部からの移住を促進するため地域のPRや交流をはかる。 また、移住者の1次産業生産品の販売支援や生産支援などを行う」</p>	熊野 エリア	中平英也
農業生産法人 (有)御浜天地農場	<p>温暖化による奈良県での梅生産リスク（2月下旬からの開花期に向けての晩霜による枯花被害）を軽減し安定収量を確保する為、無霜地帯である三重県南牟婁郡御浜町に1998年王隠堂農園が中心となり、生産者と共に入植。</p> <p>現在約14ヘクタールの面積を有し、うち4ヘクタールは有機JAS認証の圃場で、有機梅の生産もしています。園地内では、地の利を生かした有機JAS切り干し大根の製造もおこなっています。</p>	<p>長期に渡り、梅の生産が継続していく為に、スマート農業への取り組みを行っていきます。平坦なパイロット地ならではのさらなる作業の効率化、労働の負担軽減を目指すことによって新規就農者や、地域人材の流入も促進し、持続可能な農業を目指します。</p>	熊野 エリア	阿部和正

名前	事業内容	組織ビジョン	地域	担当者
<p>(株)オルト (株)ポタジエ</p>	<p>(株)オルト：地元奈良・和歌山を中心に、国産の農産物を出来るだけ使用したカット野菜、カットフルーツの加工会社です。関西の小売店を中心に販売網を広げ、地元農産物を手軽にご利用頂ける商品を提供しています。</p> <p>(株)ポタジエ：生産者とパンドラファームグループ、オルトが共同出資して立ち上げたフリーズドライメーカーです。現在は国産原材料のみを使用したみそ汁やスープ類、国産果物のフリーズドライ等を販売しており、他のフリーズドライメーカーには真似できない商品を製造しています。</p>	<p>Farm To Table ～すべての人の心と体に健康を～</p> <p>(株)オルト・(株)ポタジエは国内農産物の加工を通じて、消費者の元に手軽で美味しい食事をお届けし、消費者の心と体の健康を守ります。</p> <p>(株)オルト・(株)ポタジエは国内農産物の加工を通じて、地域の農家のみならず地域で暮らすすべての人々の生活を守り、地域の人々の心と体の健康を守ります。</p> <p>(株)オルト・(株)ポタジエは国内農産物の加工を通じて、働く人たちにやりがいと自信が持てる環境を整備し、従業員の心と体の健康を守ります。</p>	<p>紀州 エリア</p>	<p>根来 宣幸</p>
<p>(株)ベルカーゴネット システム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般貨物運送業 ・産業廃棄物収集運搬 ・工場内作業 <p>鮮度を保ち、劣化を最少限に抑え、品目に対応した管理でお運びいたします。</p> <p>冷凍・冷蔵車を始めウィング車・低床ウィング車等全て積荷に優しいエアサス車をご用意いたしておりますので、温度変化による商品の劣化を防ぎ、あらゆる品目をお運び出来るのが強みであります。</p>	<p>ベルカーゴネットシステム(株)は、紀伊半島協議会の中で、(株)太陽ネットワーク物流とともに、地域の物流政策に沿って参加をさせていただいています。基本に立っている立場は、(株)太陽ネットワーク物流の基本理念に沿って、産地の物流を地域の物流事業者として進めていきたいと思っています。</p> <p>お客さまも社員スタッフも、安心できる企業として運行管理を徹底しています。迅速で安全にお客様の荷物を輸送する為には、ドライバーと運行管理担当者の連携が非常に大切だと考えているからです。そしてそれが、輸送業務をより安全に確実に迅速に実現し、お客様の満足に繋がると考えているからです。</p> <p>太陽光発電システムを設置。 本社で使用する電気は自家発電にてまかっています。</p>	<p>紀州 エリア</p>	<p>高田 浩希</p>